

家族とジェンダーの社会学

科目ナンバリング SOC-102
選択 2単位

久木元 真吾

1. 授業の概要(ねらい)

ジェンダーをめぐる歴史的展開と現在の状況について概説する。また、「人口と家族の社会学」で取り上げられなかった家族に関する現代的な課題について、ジェンダーとの関連に注目しながら講義する。

2. 授業の到達目標

「性」や「家族」のあり方を自明視せず、その多様性を把握し、これからの「性」や「家族」をめぐる社会や制度のあり方について展望を持てるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のリアクションペーパーや諸課題(40%)、期末試験(60%)を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリント利用予定。

参考文献

適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

配布資料を再読し、自らの発見や考え、疑問点を整理しておく。

6. その他履修上の注意事項

毎回の授業でリアクションペーパーの執筆・提出を求める予定である。講義中に発言やディスカッションを求めることもある。履修上の注意点の詳細は初回に説明し、履修者はその注意点を了承したものとして授業を進める。

「人口と家族の社会学」を履修済みであることを前提に授業を進める。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:ジェンダーとは
- 【第2回】 日常生活とジェンダー
- 【第3回】 社会の中のジェンダー(1)
- 【第4回】 社会の中のジェンダー(2)
- 【第5回】 社会の中のジェンダー(3)
- 【第6回】 セクシュアルマイノリティ(1)
- 【第7回】 セクシュアルマイノリティ(2)
- 【第8回】 セクシュアルマイノリティ(3)
- 【第9回】 ケアとジェンダー
- 【第10回】 多国籍化と家族
- 【第11回】 グローバリゼーションとジェンダー
- 【第12回】 家族とジェンダーの国際比較(1)
- 【第13回】 家族とジェンダーの国際比較(2)
- 【第14回】 家族とジェンダーの国際比較(3)
- 【第15回】 まとめ